JRE（6.0 Update18）のインストール手順

1　環境設定プログラムでのインストールについて

現在配布中の環境設定 CD・プログラムでは、JRE（6.0 Update15）がインストールされます。環境設定 CD・プログラムからは JRE（6.0 Update15）をインストールしないで下さい。

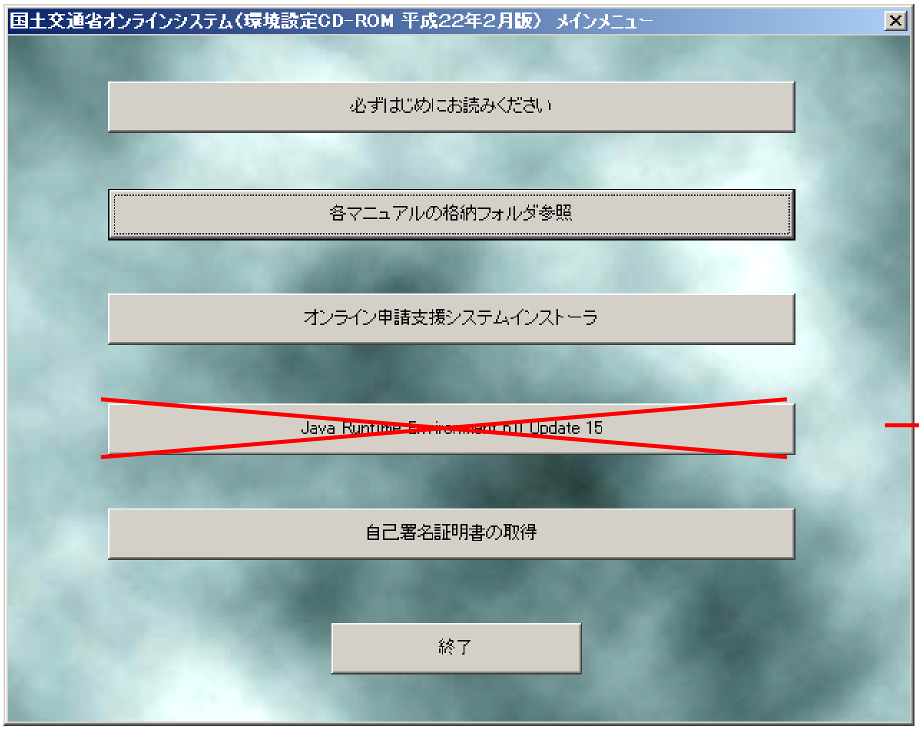
インストール手順(インストールマニュアル参照)

ステップ1	:パソコンの用意
ステップ2	:WWW ブラウザの確認
ステップ3	:インターネット利用環境の確認
ステップ4	:必ずはじめにお読みください
ステップ5	:オンライン申請支援システム環境設定インストール
~~ステップ6~~	~~:Java Runtime Environment 6.0 Update15 のインストール~~ 環境設定 CD からはインストールしないでください。
ステップ7	:自己署名証明書の取得
ステップ8	:Internet Explorer 利用時の設定

ステップ５

ステップ６

ステップ７



JRE のインストールは PR サイトからダウンロードしたファイルで行って下さい。

2　Java Runtime Environment 6.0 Update18 インストール

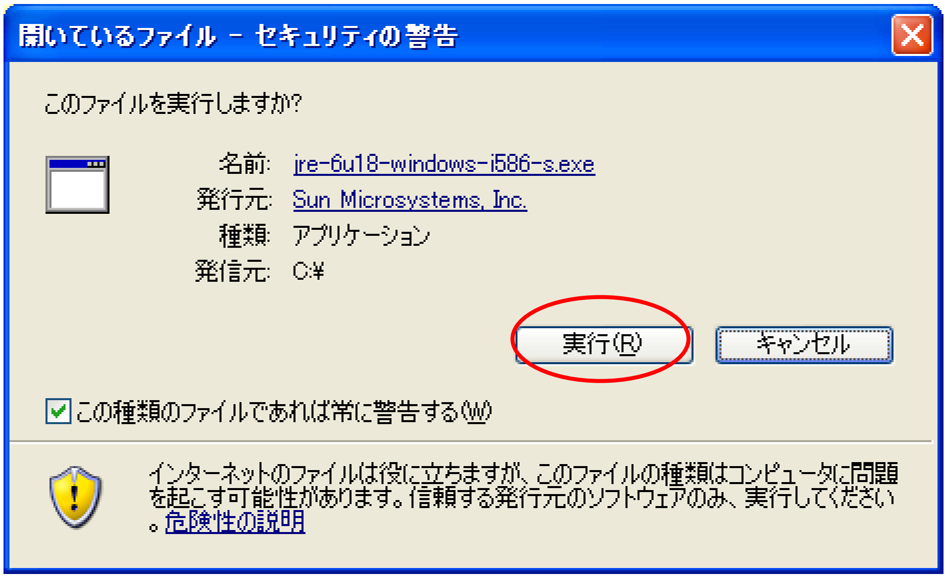
JRE（6.0 Update18）のインストールのみ下記の手順で実施して下さい。

（1）インストールファイルのダウンロード

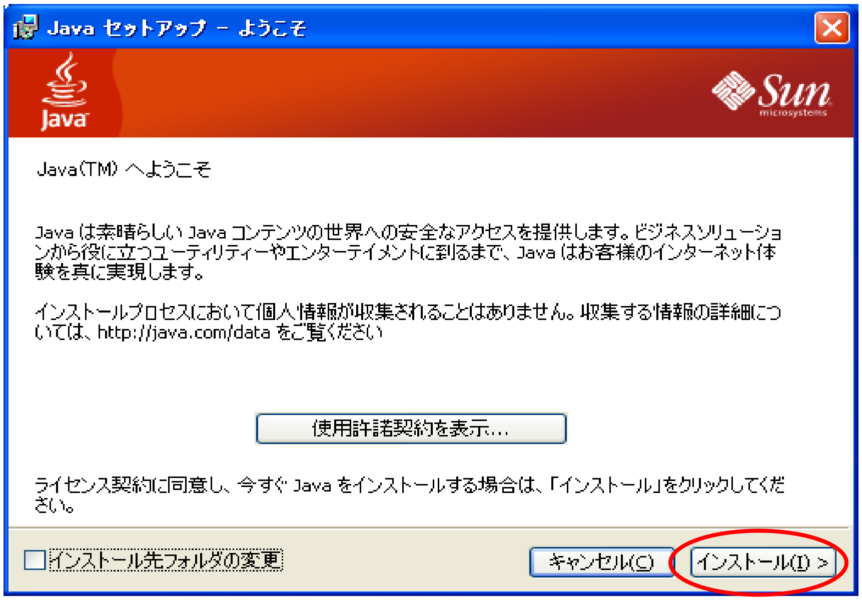
PR サイトのダウンロード画面よりインストールファイルをダウンロードします。

（2）インストールの実行

アイコンをダブルクリックし、インストールを実行します。
以下の画面が表示されますので、「実行」を押して下さい。



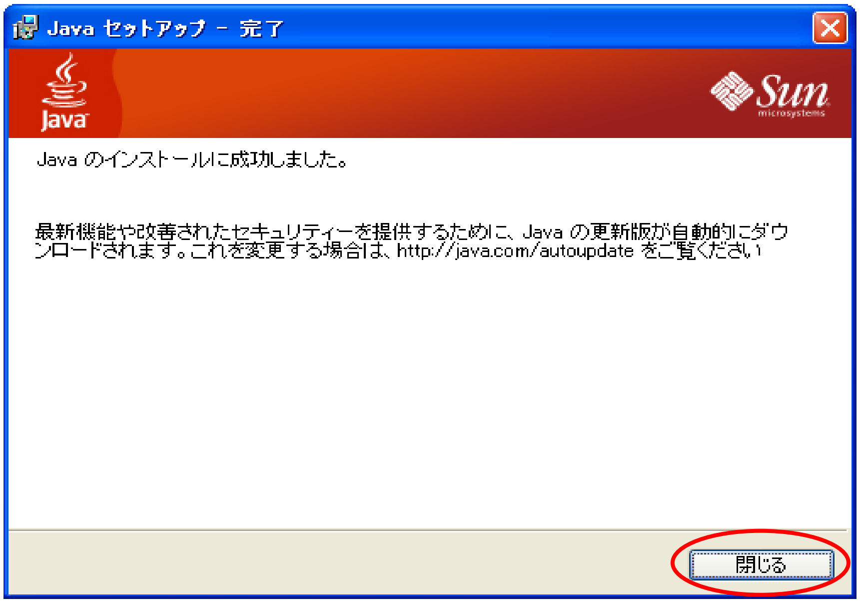
使用許諾契約の画面が表示されますので、「使用許諾契約を表示」選択し、内容確認後、「インストール」を実行します。



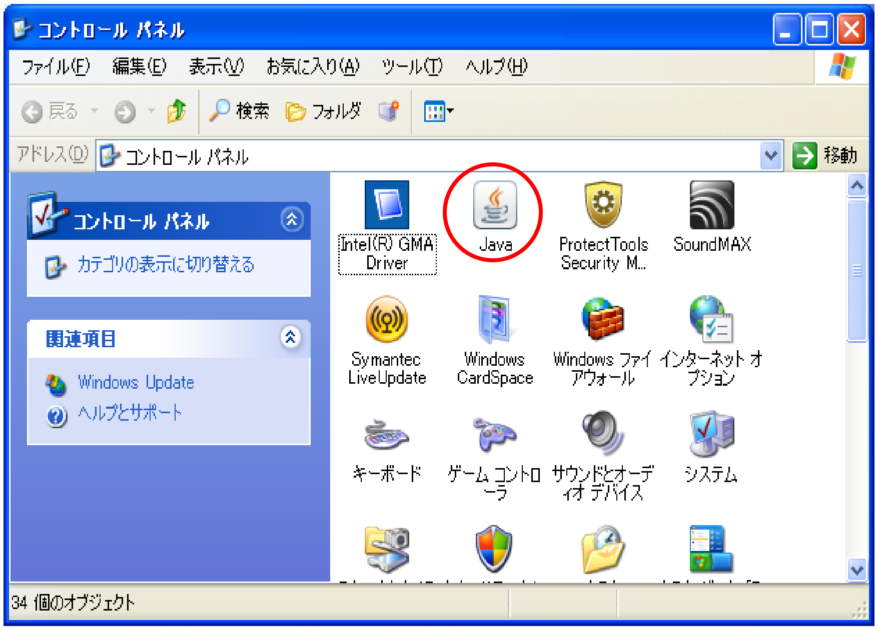
インストール中は以下の画面が表示されます。

（3）Java Runtime Environment 6.0 Update18 インストールの完了と設定

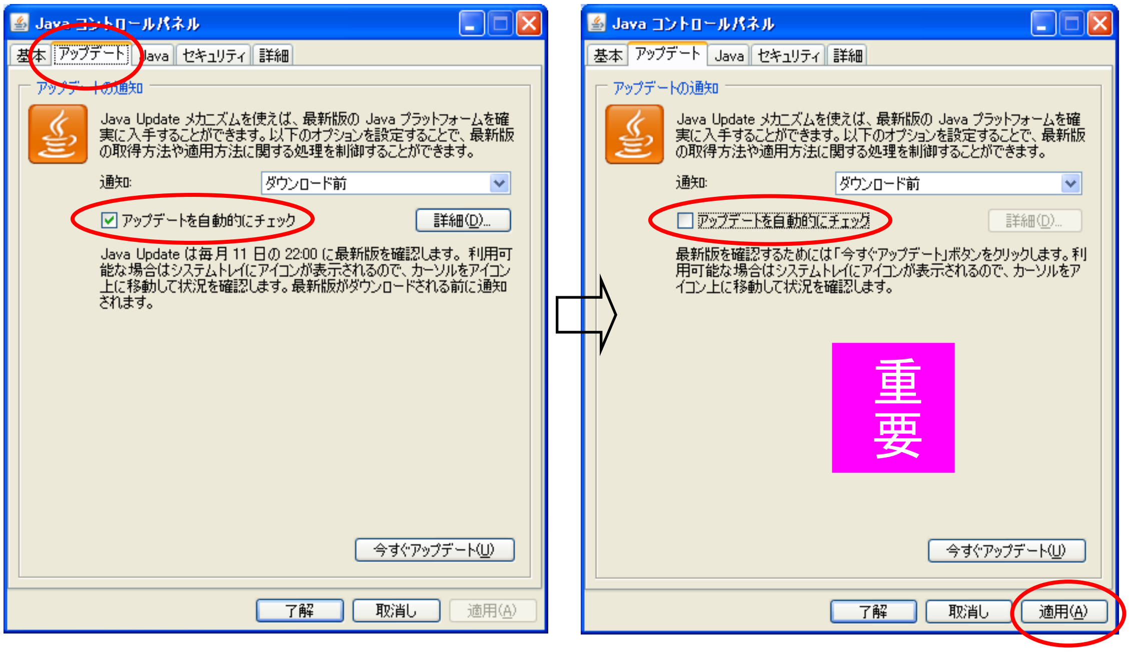
① インストールが完了すると、以下の画面が表示されますので、「閉じる」を選択してください。これでインストールは終了です。



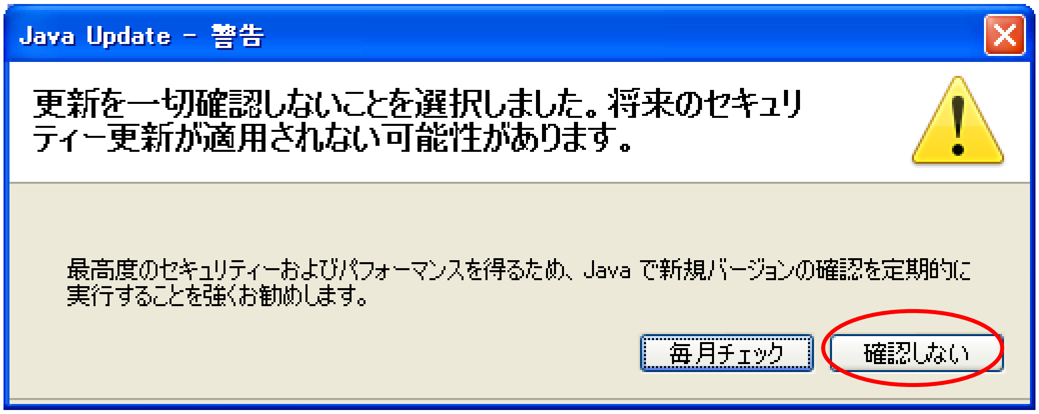
② ［スタート］メニューより、［設定］－［コントロールパネル］（クラシック表示）を選択し、［Java］をダブルクリックしてください。



③　［アップデート］タブを選択し、「アップデートを自動的にチェック」のチェックをはずし、「適用」を選択し「了解」で閉じてください。
（※アップデートのタブの出ない場合は、Java 起動時に「更新する」「更新しない」等という選択を促すメッセージが表示される場合があります。その場合は「更新しない」を選択してください。）



以下の画面が出る場合は、「確認しない」を選んで下さい。

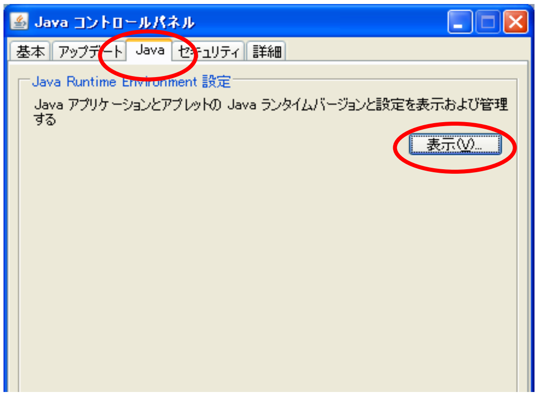


以上でインストールは終了です。

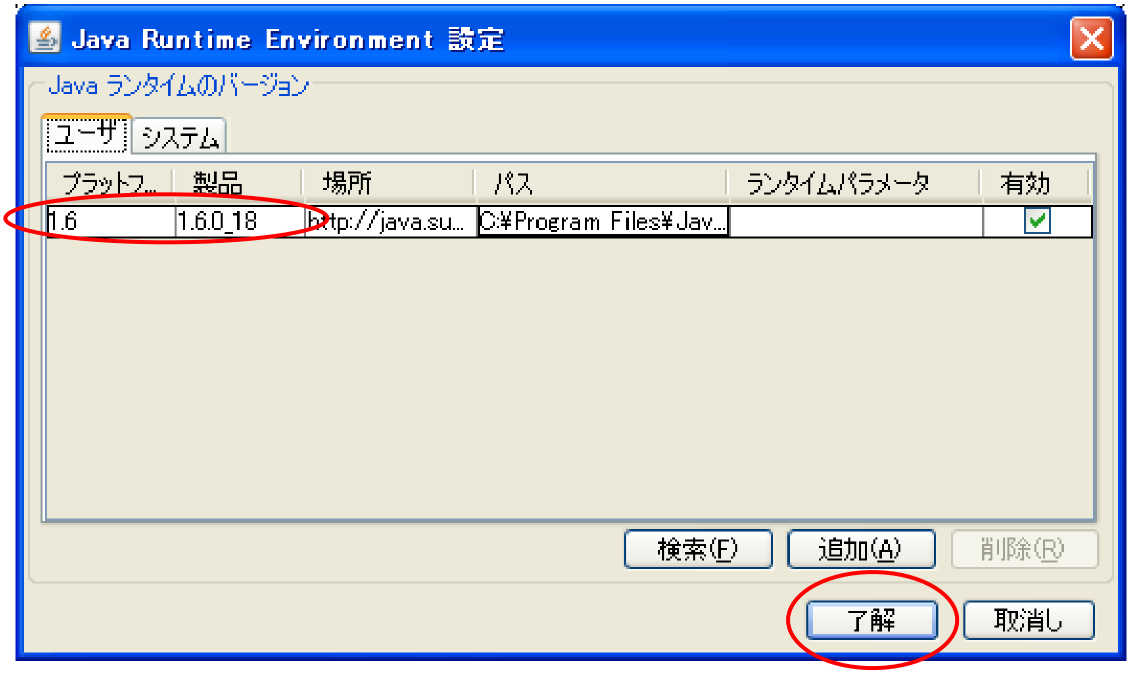
3 Javaのバージョン設定

ここでは、申請データ送信アプリケーションが、インストールした Java Runtime Environment 6.0 Update18 で動作するように設定を行います。

① コントロールパネルの［Java］を選択し、設定画面の「Java」を開き「Java アプリケーションのランタイム設定」の「表示」を選択します。



② 「プラットフォーム」が「1.6」、「製品のバージョン」が「1.6.0_18」が有効になっていることを確認します。
他に Java 製品が混在する場合は、他の製品からは「有効のチェックをはずして」ください。了解を選択して設定画面を閉じ、Java を終了します。

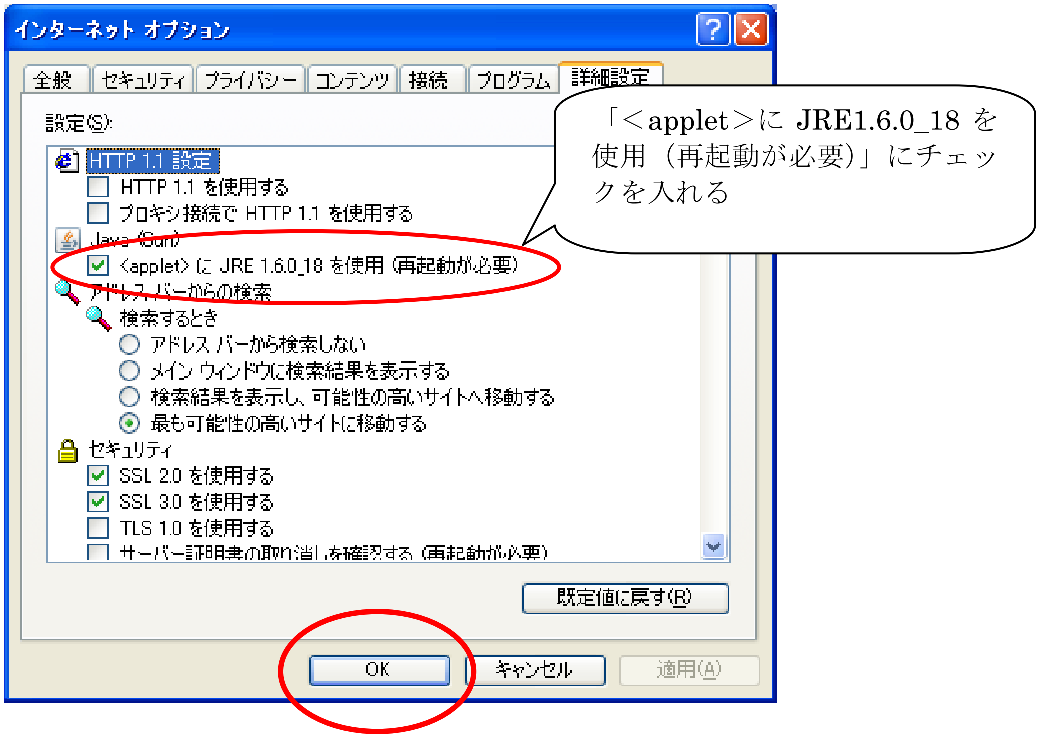


以上で Java の設定は終了です。

4　Internet Explorer 利用時の設定

（1）Java Runtime Environment の設定

　詳細設定内項目の JRE　1.6.0_18 を使用（再起動が必要）のチェックボックスにチェックを入れ（ インストール直後は必ずチェックが入っています。）、「OK」を選択し、インターネットエクスプローラを終了します。



※ 一度インターネットエクスプローラを終了しないと設定は有効になりません。

以上でオンライン申請システムのインストール及び環境設定は終了です。